

### 1 園目標

心身ともにしなやかで健康なこども ありのままの自分を表現できるこども 豊かな感性を持ち、意欲的なこども 思いやりをもち、仲間を大切にすることも
--

### 2 今年度の主な取り組み内容

	重点的な取組状況
保育	「身体づくり」を年間の保育の柱に置き、各年齢で発達に合わせて楽しく身体を使うことを意識してきました。年間を通して散歩やリズムあそびなどにとりくんできました。「身体づくり」を柱に保育を考えるにあたって各クラスでもどんなとりくみに重きを置くのかを意識してきました。
職員	園内研修を計画し職員で学びあいました。研修で学んできたことを報告しあい、保育に活かしていくようにしました。職員同士が連携して話ができるよう、会議の充実をはかりました。
保護者	園での様子をおたよりや送迎時などにわかりやすく伝えるようにしました。とりくみの様子など写真でも掲示し、より伝わりやすいようにしました。クラス懇談会では子どもたちの姿を共有し、悩みなどの交流をしました。懇談会で話足りなかったことは各クラス紙面で交流し、こどもたちの様子を共有できるようにしました。
園全体	できる限りコロナ前の保育に戻し、一泊保育や運動会もコロナ前と同じように行うことができました。開園から20年近く経つため、施設全体の修繕個所の検討を行い計画しました。
一時預かり	たくさんの問い合わせがあり、リフレッシュ枠もできる範囲で受け入れるようにしました。就労枠は予定通りに実施することができ、同じ年齢の子とも少し関りながら楽しく過ごせるようにしてきました。

### 3 今後の取り組み

重点的な取組	内容
保育	生活やあそびの中で楽しく身体を使っていくことを意識的に行い、年齢や発達に見合ったとりくみをしていきます。
職員	園内学習を計画し、みんなで学びあいます。保育の振り返りを大切にし、こどもたちの姿からとりくみや手立てを話し合い考えます。
保護者	園でのようすをわかりやすく丁寧に伝えていき、家庭と連携しながら一緒にこどもの成長を喜び合える関係を築いていきます。
園全体	安全対策や感染症対策を行いながら保育の検討を行います。また、関係機関とも連携をしていきます。話し合うことを大切に、一人ひとりのこどもの成長を園全体で見守り考えていきます。
一時預かり	昨年と同様の事業を予定しています。